

| 平成 19 年度運営幹事会 (第 1 回) 議事録 | |
|---------------------------|--|
| 開催日時 | 平成 19 年 5 月 9 日(水) 16:00 ~ 17:50 |
| 開催場所 | 石油資源開発(株) 22F 第 5 応接室 |
| 出席者 | 委員長: 吉田恒夫(石油資源開発) 運営幹事: 今里昌幸(石油資源開発)、市川祐一郎(JDC)、久保健一(テルナイト)、富岡正(帝国石油)、長縄成実(東京大学)、福島直哉(出光 O&G 開発) 分科会座長: 田崎誠司(帝国石油)、古谷昭人(JDC) 事務局: 筑井秀昌(石油資源開発) オブザーバー(春季講演会パネルディスカッション司会): 中村常太(石油資源開発) 以上 11 名 |
| 議題 1 | 各分科会活動報告 大水深掘削技術分科会: 古谷座長 添付資料 1 ・IADC「Deepwater Well Control Guidelines」の利用許可に関して。 ✓ IADC にはメールにて問い合わせているが、未だに返答なし。 ✓ 必ずしも必要とは限らないが、完全を期すために許可を取りたい。…近日 JDC に来社予定の IADC の者に依頼する。 ・次回会合: 8 月中に開催予定。 ホームページ分科会: 田崎座長 ・HP 上の作井技術委員会の「行事・会議案内」の更新。 ・HP 上の「掘削ギネス」を更新したい。…JDC 担当者と直接打ち合わせしながら行う。 作井マニュアル分科会: 今里座長 添付資料 2 ・これまで発行された作井資料の発行番号を確認する。…本会議後確認。最新の成果物である掘削用語集(HP 上)が「技術資料 17」であるため、本成果物は「技術資料 18」とする。 ・日本語版作成の許可申請に対して、未だ World Oil 誌からの返答なし。…長縄幹事がコンタクトした編集者の連絡を受け再度試みる。 ・次回会合: 5/15(火)に開催予定。 |
| 議題 2 | 平成 19 年度春季講演会シンポジウム・個人講演について 添付資料 3 プログラム内容に関しては変更なし。 ・テルナイトの運営幹事交代に伴い、世話人を変更(星野幹事 → 久保幹事)。 シンポジウムおよび個人講演要旨集用原稿入稿状況。 ・締切日は 5/11。5/8 現在で、シンポジウムは 2 件(全 7 件中)、個人講演は 3 件(全 19 件中)。他委員会の入稿状況も同様とのこと。 シンポジウムパネルディスカッション出張録音およびテープ起こしの業者選定。 ・事務局より、2 社からの見積内容を報告後、「(株)大和速記情報センター」を選定することで了承された(平成 17 年度実績業者)。 PC プロジェクター。 ・同会場で開催された平成 17 年度春季講演会にて、プロジェクターの作動不良があった。今回はバックアップを十分に確保しておく(協会事務局および幹事会社にて)。 |

PC レンタル。

・協会事務局に依頼済み。1 週間前からレンタルできるため、事前に事務局にて発表用資料の作動確認を行っておく。

当日の会議の進行について。

・本年度は初日が個人講演、2 日目がシンポジウムとなるため、初日の委員長挨拶は開会宣言のみとし、その後司会者等による事務連絡に移行する。

講演者および聴衆に対する注意事項。

・発表者の紹介方法、予鈴の鳴らし方等を記載した注意事項案を事務局で作成し、事前に運営幹事に送信する。

・当日の注意事項は、口頭による説明のみでなく、張り紙による掲示も行う。

・講演発表時の予鈴の鳴らし方は、昨年度のやり方を踏襲(基本的に 2 回目のベルで終了してもらう)。…シンポジウムは、1 回@35 分、2 回@40 分、3 回@43 分。個人講演は、1 回@10 分、2 回@15 分、3 回@18 分。これらを記載した紙を、演台の上においておく。

昼休み中の貴重品管理について。

・参加者に対して注意喚起するほか、複数人が見張り係として会場に待機する。

発表用資料の事前送付依頼。

・当日の進行をスムーズに行うため、講演者の方々に発表用資料を事前に事務局まで送付してもらうように依頼する。その際に、予鈴等に関する注意事項の通知および講演予定者の読み方(振り仮名)の確認等も合わせて行う。

当日の集合時間。

・両日とも 9 時とする。幹事会社は、開場時間(8 時 30 分)より準備を開始する。

2 日目(シンポジウム)終了後の慰労会。…(初日は特に設定せず、各自で行う。)

・新宿駅周辺にて 18:30 頃より開始予定。

・事務局にて会場を選定し、事前に関係者に連絡する。

議題 3 「油井・パイプライン用鋼管ハンドブック」API 規格の見直しの要否について

委員長より本件に関する経緯を説明。

・議論した結果、作井技術委員会運営幹事会としては、「予想される多大な労力を考慮するとその必要性は低いので現時点では改訂を行わない。作井・生産関係の実務関係者から改訂を要望する声が出るまで、当面は必要であれば API 原本に当たることで対応してもらう。」との結論に至った。

議題 4 4/24 第 1 回理事会報告

報告された主な議事は以下の通り。

・会員の異動。

・平成 19 年度名誉会員の推薦について。

・平成 18 年度収支決算報告。

・各委員会の活動状況報告。

✓ 編集委員会より、投稿規程等の改正について要点説明あり。

| | |
|-------------|--|
| <p>議題 5</p> | <p>・石油技術協会賞選考について。 ✓ 選考委員会規定に不備があるため、幹事会(石油技術協会)にて検討。</p> <p>その他、事務連絡 添付資料 4</p> <p>事務局より平成 18 年度活動費の収支を報告。 ✓ 例年通り本年度の年次予算は 30 万円。支出についても、昨年度を踏襲する方針が了承された。 次回運営幹事会は 7 月上旬に開催予定。</p> |
|-------------|--|

- 添付資料 1: 大水深掘削技術分科会
2: 作井マニュアル分科会
3: 平成 19 年度春季講演会スケジュール(作井部門)
4: 平成 18 年度作井技術委員会活動費収支報告